

冬の園芸植物に春のぬくもりを

園芸ケーブル

小型温室のクリーンな
暖房設備として最高!

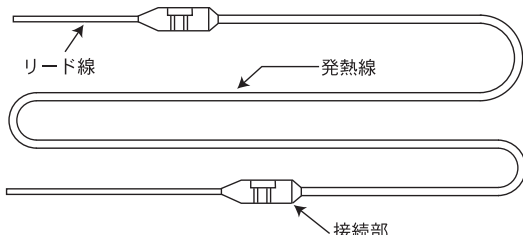


小型温室の加温に最適です

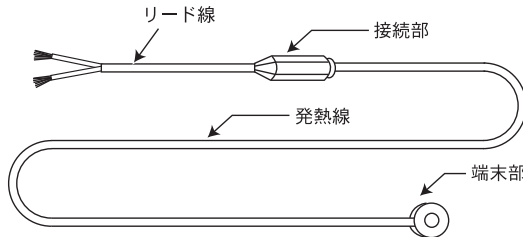
- 温風ヒーターと違い植物の嫌う乾燥した風をださずにやさしく、むらなくあたためます。
- 電気を使用するので安全でクリーンな暖房ができます。サーモ(別売)を併用すると自動温度管理ができ一層手間がかかりません。
- 同一温室内でも園芸ケーブルの配線密度を調整することにより温度分布をかえることもできます。
- とくに、ラン等の冬期加温設備として数多く使用され、たいへん好評です。

園芸ケーブルの構造

(A) 1-50020 . 2-50020



(B) 1-125P . 1-530P . 2-530P . 3-530

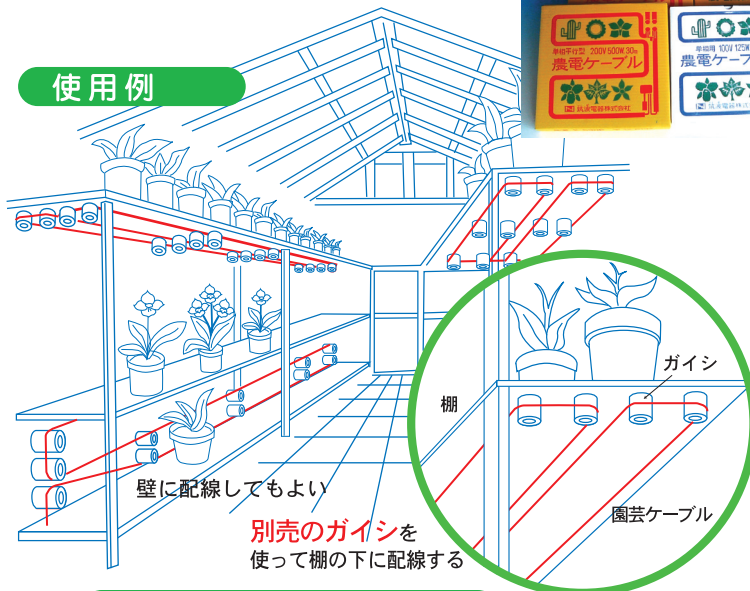


園芸ケーブルの種類

品番	規格	備考
1-50020	単相100V 500W 20m	空中配線専用
2-50020	単相200V 500W 20m	
1-125P	単相100V 125W 10m	
1-530P	単相100V 500W 30m	
2-530P	単相200V 500W 30m	
3-530	三相200V 500W 30m	

●仕様、外観等は、予告なく変更する場合があります。●ガイシは別売です。

使用例



温室の加温に必要な電力

温室を園芸ケーブルで加温するのに必要な電力は、温室の形状や気象条件などによって異なりますが、下記の計算式によっておおよその必要電力を求める事ができます

$$\text{必要電力 (KW)} = \frac{\text{坪数} \times \text{係数} \times \text{温度差}}{860}$$

- 坪数：平米 (m) ÷ 3.3 (ただし、高さは2.5mまで一定とみる)
- 係数：被覆材……ガラス………36
ガラス+ビニール………23
ビニール………43
ビニール+ビニール………26
- 温度差：(希望する温度) - (予想される最低気温)

計算例

6.6㎡の温室を16℃まで加温するのに必要な電力は?
(なお、被覆はガラス+ビニール、予想最低気温は6℃とする)

坪数：6.6 ÷ 3.3 = 2坪
係数：ガラス+ビニール………23
温度差：(希望する温度16℃) - (予想される最低気温6℃) = 10℃

$$\text{●必要電力} = \frac{2\text{坪} \times 23 \times 10\text{℃}}{860} = 0.534 \text{ (約500W)}$$

以上の場合、500Wの園芸ケーブル(100V・200Vは関係なく)1組で室温16℃が保てます。

- 必要電力に端数がでた場合は500W単位で切り上げて下さい。例えば必要電力が1,300Wの場合は、必要電力を1,500Wに切り上げ500Wの園芸ケーブルを3組並列に結線してご使用下さい。